

本別町まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「総合戦略」の全体像

総合戦略（2015～2019年度の5か年）

基本目標（成果指標 2020年）

「しごと」と「ひと」の好循環づくり

地域資源を活用し、元気な産業と安定した雇用を確保・創出する

○経済を支えるあらゆる産業における積極的な事業活動への支援を行い、産業振興を図る。
 ○創業・起業の促進及び地域資源を活用した新産業の創出・育成などを通じて、地域産業の形成・活性化を図る。

- 事業所数：400事業所（H27 397事業所）
- 新規雇用創出数：5年間で45人

本別の特性に磨きをかけ、新しい人の流れをつくる

○本町の魅力や住みやすさなどの情報を町内外に発信するとともに、地域産業の振興と雇用の安定と創出を図りながら本町への就職や居住を推進し、U I Jターンや移住を促進するため、受け入れやサポート体制の充実を図る。
 ○地域の特性や潜在力を磨き、対象に合わせた戦略的かつ効果的なプロモーションを推進し、本別町への新しい人の流れをつくり、交流人口の拡大を図る。

- 移住者数：5年間で20人
- 観光入込数：H26基準20%増加 57万人（H26 47万人）

結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境をつくる

○若い世代が、結婚・出産や子育てに希望を持てる地域の実現を目指し、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう地域全体で育む環境づくりを推進する。

- 合計特殊出生率：
H20～H24基準より0.20ポイント増加（1.68→1.88）

好循環を支える、まちの活性化

将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心な暮らしを確保する

○本別町に住み、働き、豊かな生活を送りたい人を増やし、その希望をかなえられる環境を実現するため、町民やまちづくりに関わる多様な団体が、主体的に活動する意欲や能力を高めながら、様々な地域づくりにおいて「自助・共助・公助」のそれぞれが効果的に推進されるよう適切な役割分担による協働により、暮らしの安心を確保する。

- 本別町に住み続けたいと思う人の割合：
H27年基準より10ポイント増加（55.9%→65.9%）
- 人口の社会増減数：H24～H26平均減少率より50%減少（△106人→△53人）

主な重要業績評価指標（KPI）

- ・農畜産物生産高
- ・新規就農者数
- ・有害鳥獣による農林業被害額
- ・有害鳥獣捕獲頭数
- ・造林面積
- ・商業年間販売高
- ・工業出荷額
- ・新卒者の地元就職数
- ・農福連携による就労者数
- ・介護職員資格取得者数
- ・起業件数
- ・新商品開発件数
- ・誘致企業数
- ・町外からの起業家数
- ・特産品販売高
- ・商談成約件数
- ・相談件数(求人)

- ・観光客入込数
- ・イベント客入込数
- ・移住者相談件数
- ・お試し移住体験者数
- ・町外からの起業家数

- ・婚活・交流イベントの参加者数
- ・妊婦健診受診率
- ・乳幼児健診受診率
- ・子育て支援拠点事業のべ利用者数
- ・就学前児童の教育(入園)・保育(入所)割合
- ・子育て中の保護者が「地域の人に支えられている」と感じる割合
- ・「本別町が好き」と思う中学生の率
- ・町内中学生の地元高校への進学率

- ・循環バス利用者数
- ・高校生の路線バス利用者数
- ・路線バスの団体利用者数
- ・住宅改修助成件数
- ・住宅取得助成件数
- ・障がい者の転入者数
- ・買い物支援サービス利用者数
- ・健康寿命
- ・平均寿命
- ・資源回収参加自治体・団体数
- ・消防団員数
- ・自主防災組織数
- ・浦幌線バス利用者数

主な施策

- ①地域産業の振興による雇用の安定・創出
 - ・農業者の経営力強化、農業生産の向上・経営の安定化・担い手育成
 - ・森林資源の多面的機能保全・整備と利活用
 - ・商工業者の経営基盤の安定・強化
 - ・福祉施策と連携した雇用創出
- ②起業家支援による雇用の創出
 - ・起業の促進による産業の振興や地域経済の活性化
- ③地域資源を活用した新産業の創出
 - ・企業誘致の推進と高速道路や高速通信網を活用した新たな産業創出
- ④地域ブランド確立による雇用の創出
 - ・6次産業化による商品開発や農・林産物の高付加価値化
 - ・「豆類」加工品の販路拡大・確立
- ⑤求人情報の一元化による情報提供と就業機会の確保
 - ・求人情報の一元化を図るための情報管理と提供

- ①特色ある観光の振興
 - ・本別公園の面的整備や魅力発信
 - ・道の駅の機能向上や新たな魅力づくり
- ②観光による交流・集客の推進
 - ・農商工・観光団体が一丸となり取り組む町最大のイベント開催
- ③移住の推進
 - ・移住希望者への受け入れ態勢の整備拡充

- ①若い世代の出会いと交流の機会の創出
 - ・若い世代が自然と集まれる空間づくりと婚活イベント開催支援
- ②安心して子どもを産み育てる環境の充実
 - ・育児不安の解消と親子の健康対策の充実
 - ・教育・保育施設の幼保連携型認定こども園化
 - ・保育料の見直しと新たな保育サービスの提供
 - ・子育て世帯の医療費軽減対策
- ③教育環境の充実
 - ・地域で子どもを育む取り組みの推進
 - ・ふるさとに愛着を持てる特色ある教育活動の推進

- ①暮らしの安心を確保する基盤整備
 - ・地域公共交通の維持確保
 - ・空き家対策の推進と住まいの環境整備促進
- ②健康で安心して暮らせるまちづくり
 - ・日常的、定期的な健康管理の定着促進と地域医療の確保
- ③町民力を活かす地域コミュニティと地域間連携の推進
 - ・自治活動支援や住民ネットワークの充実
 - ・町民と行政の協働・連携
 - ・地域間連携による人と経済、文化の交流

人口ビジョン

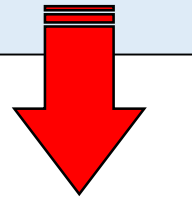
中長期展望（2060年を視野）

1. 人口減少問題の克服

- 2060年に5千人程度の人口を確保

- <人口減少の歯止め>
- ・出生率の上昇
 - ・社会減人口の縮小

2. 地域経済の活力の維持



持続可能な地域づくり